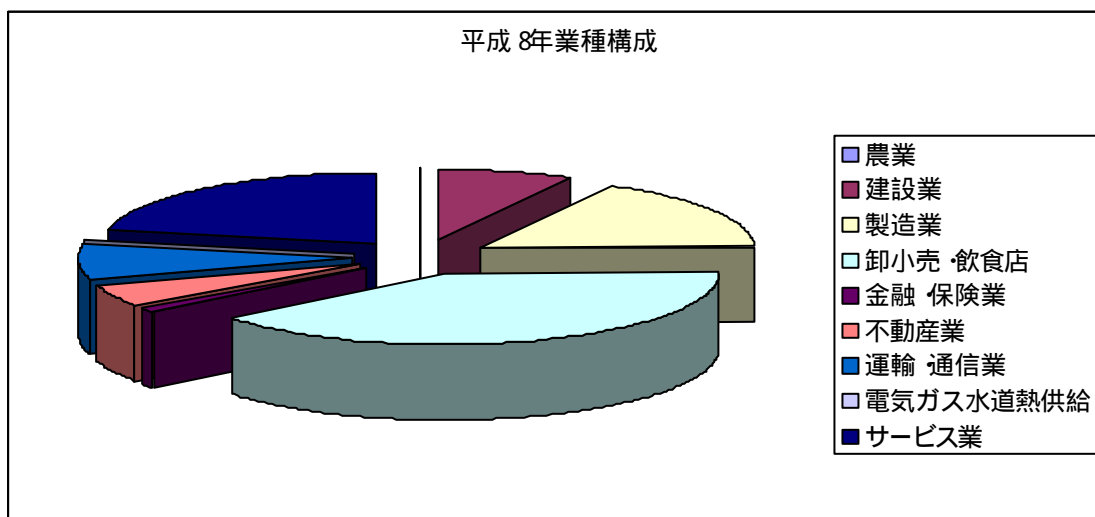
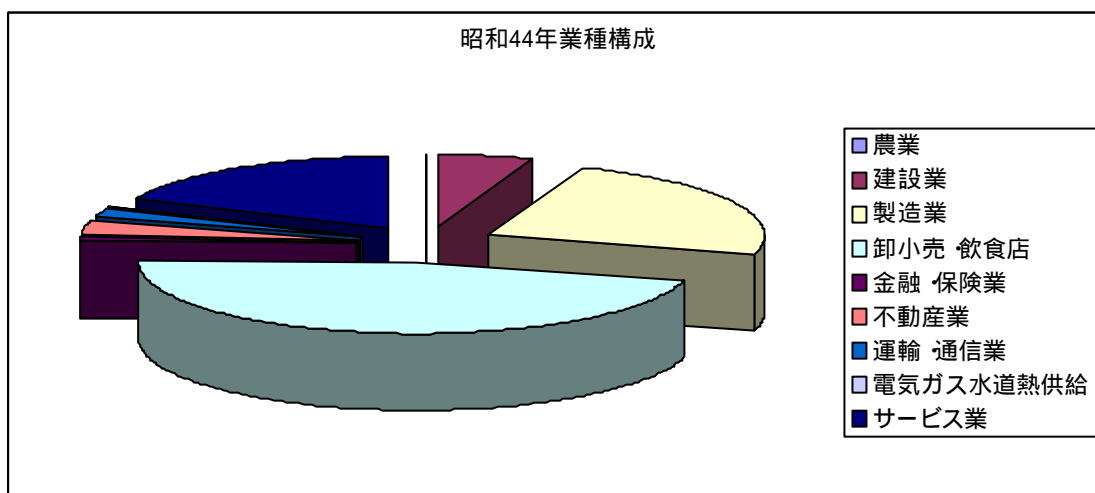


第1章 板橋区商工業の位置

板橋区教育委員会事務局次長 佐々木末廣

板橋区における産業の現状

板橋区における産業の現状を平成8年の事業所統計で見ると、卸小売・飲食店数が第一位を占め、続いてサービス業、製造業の順になっている。これを昭和44年の事業所統計で見ると第一位は、卸小売・飲食店が変わらないが、第二位は製造業が占め、第三位がサービス業となっている。



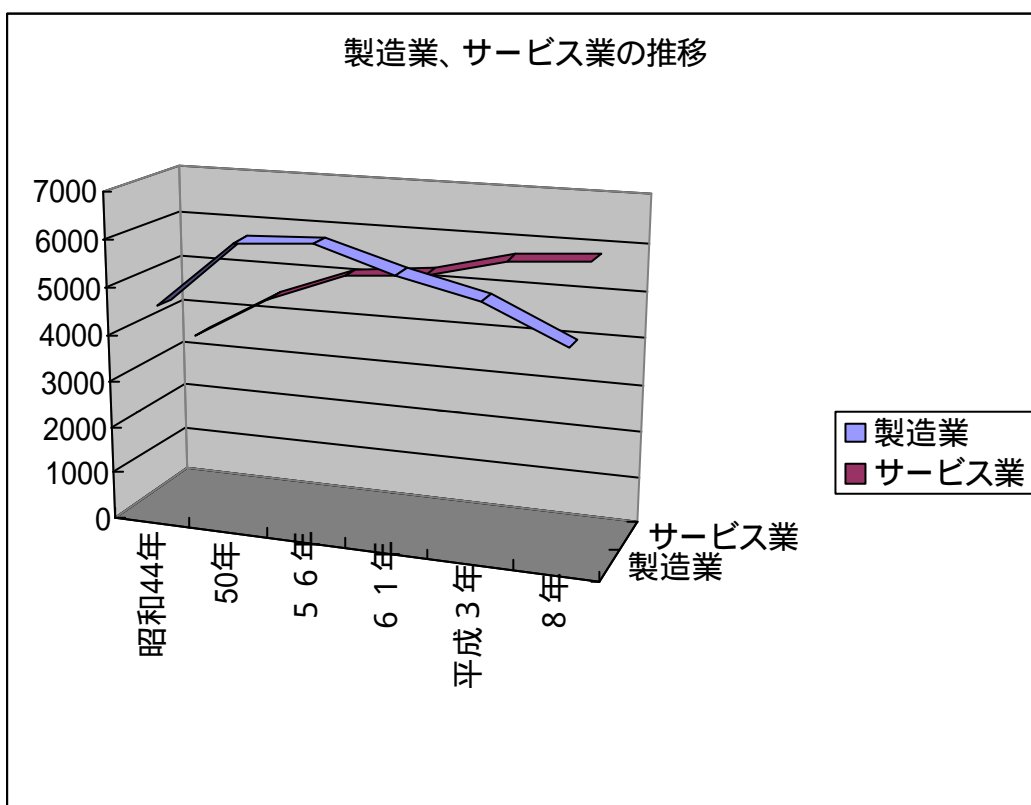
東京においては、全国に先がけて産業のサービス化、ソフト化など産業構造の転換が進展し、板橋区においても年々工業のウェイトが低下してきている。これを事業所統計で見ると板橋区内の製造業は昭和44年の4,563事業所から昭和56年には6,114となり、この間に1,500もの増加となった。しかし、それを境に平成8年には4,438と約1,600減少し、

ピーク時と比べて 27.4%減少してきている。

これに比較してサービス業では、昭和 44 年の 3,508 事業所から一貫して増加し、平成 8 年には 5,800 となり、この間に約 2,300、65.3%もの増加となっている。

産業別事業所数の推移

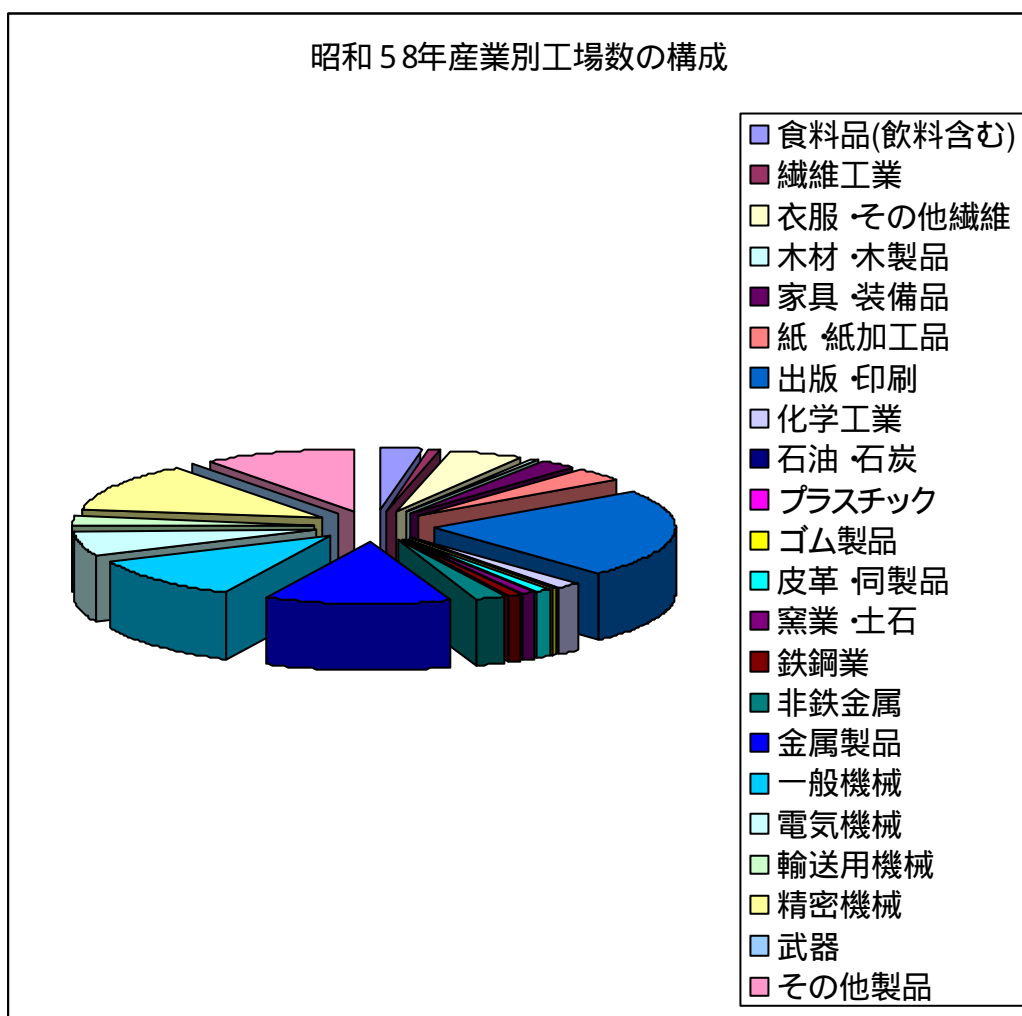
	昭和 44 年	50 年	56 年	61 年	平成 8 年
農業	15	22	26	9	2
建設業	1050	1610	1840	1838	2111
製造業	4563	6020	6114	5620	4438
卸小売・飲食店	8936	10553	11568	11409	10389
金融・保険業	225	251	281	292	304
不動産業	640	1003	1138	1101	1296
運輸・通信業	393	726	1821	1987	2036
電気ガス水道熱供給	14	14	12	13	10
サービス業	3508	4468	5118	5256	5800



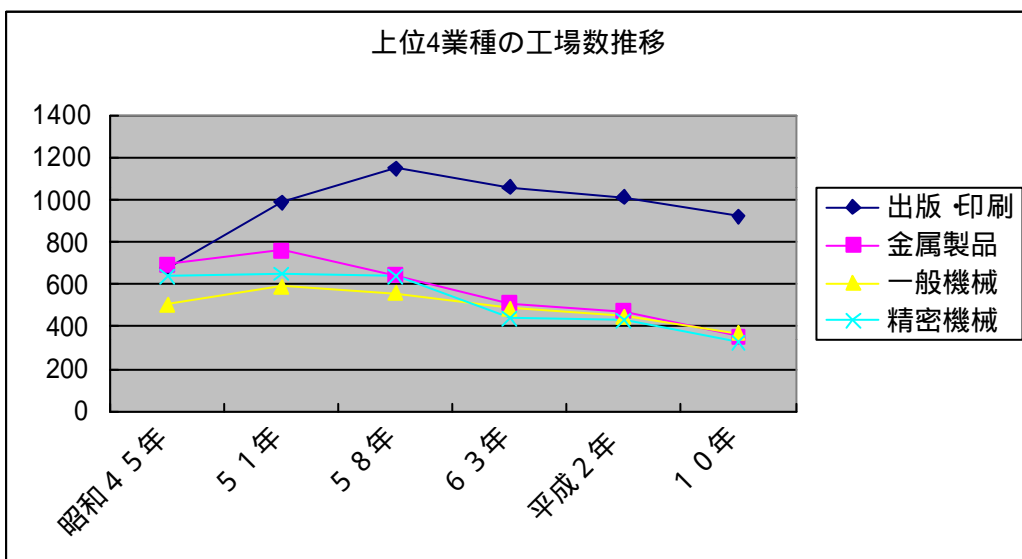
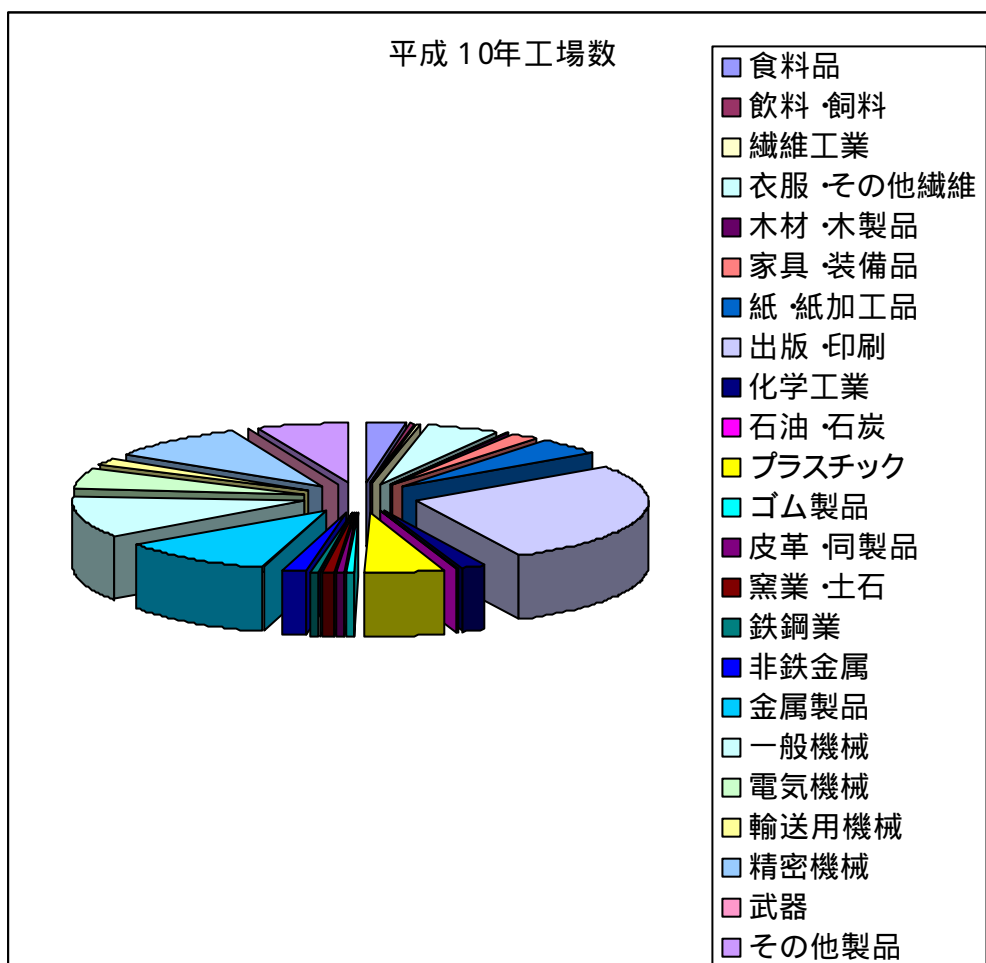
板橋区の工業の推移

歴史的に見れば、板橋区の工業は、河川を利用した軍需工場から重化学工業基礎資源型の工業、精密機械さらに印刷・同関連産業など都心部の需要に対する都市型工業が発展し、都内で有数の工業集積を形成してきた。試みにここ 30 年余りで工場数の一番多かった昭和

58年の工業統計でみると、全体では、5,098工場あり、第一位には出版・印刷・同関連産業が1,151工場あり、全体の22.5%となっている。第二位が金属製品製造業の642工場、12.6%であり、これに続く第三位が精密機械器具製造業の638工場、12.5%であり、第四位は一般機械器具製造業の557工場、10.9%となっている。これらの第一位から第四位までの業種で実に全体の約6割を占めている。



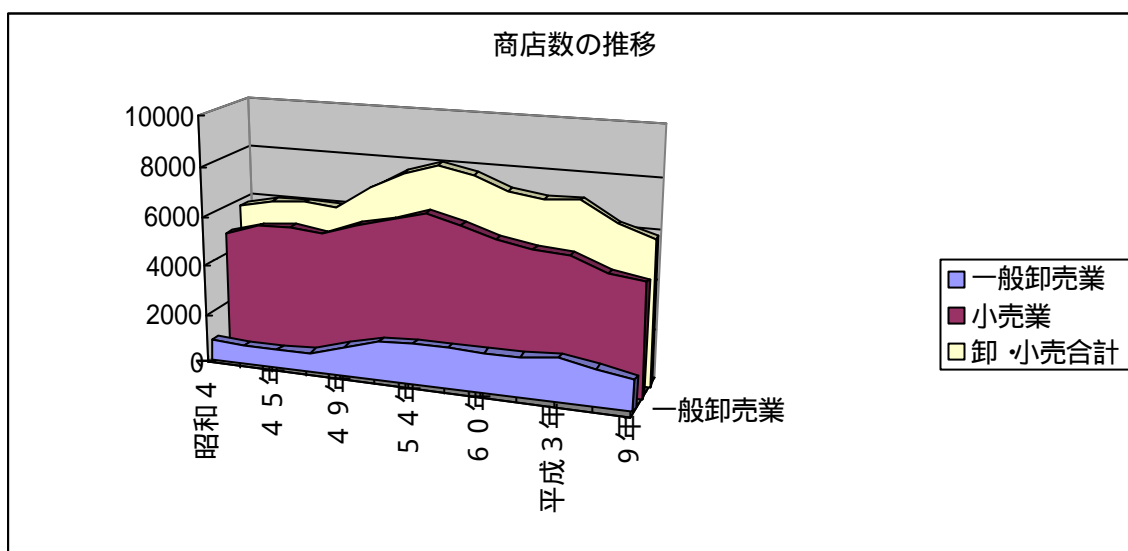
しかし、宅地化への進展あるいは工場等制限法などにより、大規模工場は地方に移転したところも多い。また、国際化の進展の中で海外へ製造現場が移ったところも出てきた。こうした状況の中で平成10年には、総工場数が3,334と昭和58年に比べて34.6%も減少している。産業別に見ると第一位には出版・印刷・同関連産業が924工場あり、全体の27.7%となっている。第二位が一般機械器具製造業の371工場、11.1%であり、これに続く第三位が金属製品製造業の354工場、10.6%であり、第四位は精密機械器具製造業の327工場、9.8%となっている。これらの第一位から第四位までの業種で全体の約6割を占めていることには変わりがないが、第2位以下の順位は昭和58年に比較すると僅差ですべて入れ替わっている。



産業中分類	昭和45年	51年	58年	63年	平成2年	10年
食料品(飲料含む)	170	166	144	128	106	100
繊維工業	77	59	47	29	22	11
衣服・その他繊維	154	200	247	199	177	163
木材・木製品	64	42	34	26	23	12
家具・装備品	130	115	129	82	78	64
紙・紙加工品	187	210	182	137	152	155
出版・印刷	680	989	1151	1059	1015	924
化学工業	120	104	88	79	71	55
石油・石炭	5	2	2	3	4	3
プラスチック				228	209	191
ゴム製品	20	25	19	18	18	14
皮革・同製品	31	35	46	31	30	18
窯業・土石	55	63	48	35	31	28
鉄鋼業	62	46	41	29	27	19
非鉄金属	156	127	103	74	71	61
金属製品	695	761	642	510	473	354
一般機械	508	593	557	488	450	371
電気機械	296	323	325	250	237	187
輸送用機械	146	110	128	95	87	66
精密機械	641	650	638	441	432	327
武器	0	0	0	0	0	0
その他製品	390	514	527	220	212	211
総数	4587	5134	5098	4161	3925	3334

板橋区の商業の推移

板橋区の卸・小売業の商店数を見ると、昭和47年に若干の減少が生じたものの、その後は昭和54年までほぼ順調に増加してきた。昭和41年の5,719と比べると昭和54年には8,039となり40.6%も増加した。しかし、その後は減少に転じ、平成9年には5,809となり、最盛期の昭和54年と比べると27.7%も減少し、商店数では昭和41年の5,719に近づいている。

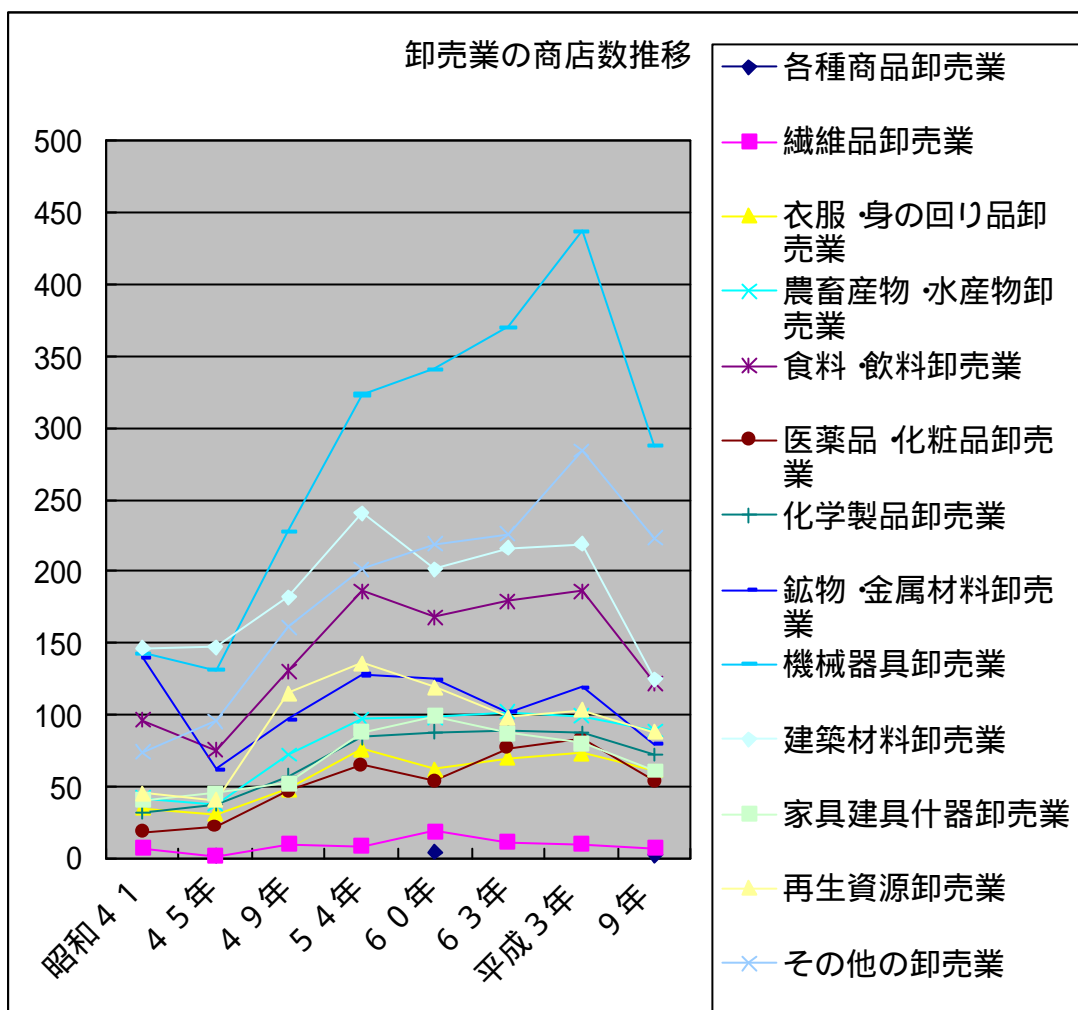


	昭和41年	45年	49年	54年	60年	平成3年	9年
一般卸売業	818	727	1199	1632	1597	1780	1270
小売業	4901	5385	5698	6407	5644	5316	4539
卸・小売合計	5719	6112	6897	8039	7241	7096	5809

卸売業

卸売業の商店数では、平成3年の1,780が最高となっているが、その後減少して平成9年には1,270となり、平成3年に比べ28.6%の減少となっている。

業種別に見ると昭和41年には、卸売業全体で818の商店数であったが、建築材料卸売業の商店数が146で第一位、機械器具卸売業が143で第二位、鉱物・金属材料卸売業が140で第三位となっており、それぞれ全体の17%程度を占めている。しかし、昭和49年からは安定的に第一位が機械器具卸売業となり、建築材料卸売業と入れ替わっている。さらに、昭和60年には「その他の卸売業」が第二位となり、建築材料卸売業は第三位となった。以後平成9年に至るまでこの順位が続いている。



商店数

業種	昭和41	45年	49年	54年	60年	平成3年	9年
各種商品卸売業		2			4		2
繊維品卸売業	7	1	10	8	19	10	7
衣服・身の回り品卸売業	35	31	48	76	62	73	61
農畜産物・水産物卸売業	42	38	72	97	98	99	89
食料・飲料卸売業	96	75	130	186	168	186	122
医薬品・化粧品卸売業	18	22	47	65	54	83	54
化学製品卸売業	32	38	57	84	88	87	72
鉱物・金属材料卸売業	140	62	97	128	125	119	79
機械器具卸売業	143	131	228	323	341	437	287
建築材料卸売業	146	147	182	240	201	219	125
家具建具什器卸売業	40	45	52	88	99	80	61
再生資源卸売業	45	40	115	136	119	103	88
その他の卸売業	74	95	161	201	219	284	223
一般卸売業	818	727	1199	1632	1597	1780	1270

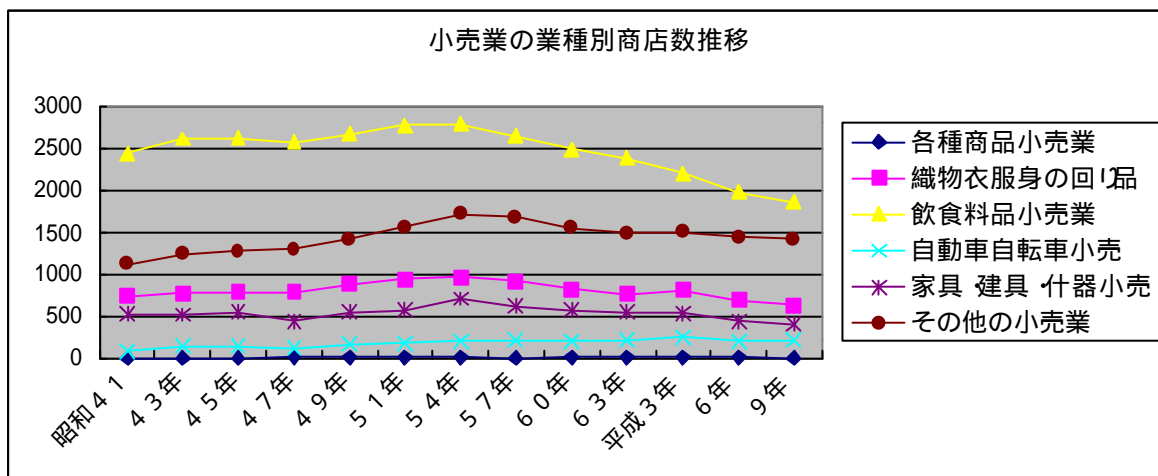
小売業

一方、小売業の商店数では昭和54年の6,407が最高となっているが、これに比べ平成9年では4,539と実数で1,868商店、29.2%の減少となっている。

業種別に見ると、昭和54年の飲食料品小売業の商店数は2,782とここ30年程の間で過去最高となっている。その後減少傾向が続き、平成9年には商店数1,857と33.2%減少した。

昭和54年の飲食料品小売業の商店数は、小売業全体の43.4%であったが、平成9年には40.9%と構成比でも減少している。

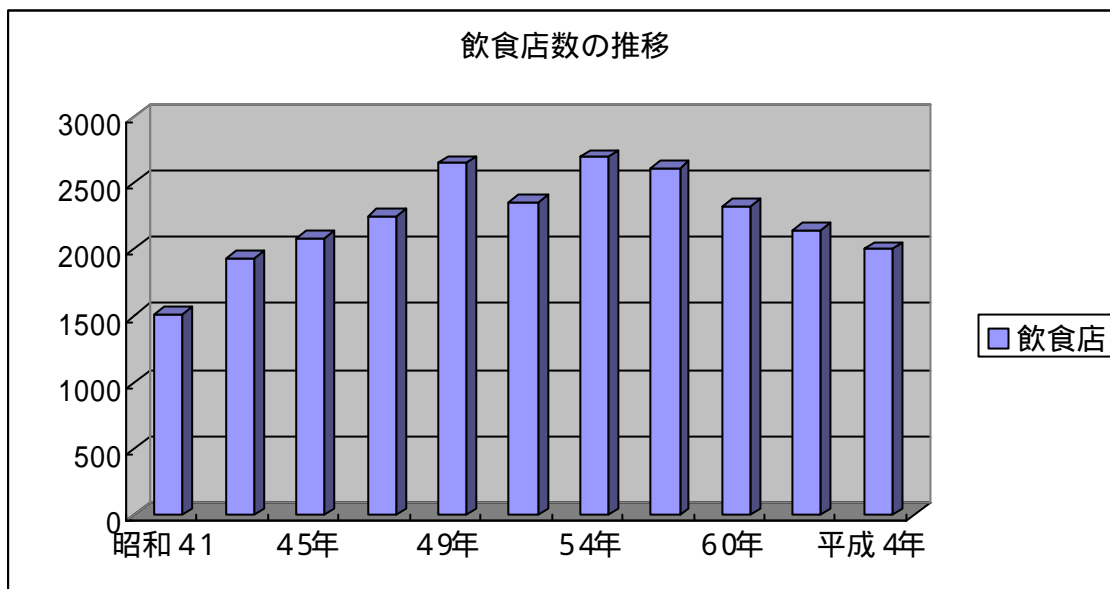
その他で目立つのは、自動車自転車小売業で、昭和41年に87であったものが、平成3年に250となり約3倍に伸びている。その後は減少しているが未だ217とピーク時に比べても13.2%しか減少していない。織物衣服身の回り品小売業では飲食料品小売業と同じく昭和54年にピークが来て971となっているが、昭和41年に比べ31.9%の伸びしかない。それぞれの業種の伸びとピーク時の違いが注目されるところである。



	昭和41年	45年	49年	54年	60年	平成3年	平成9年
各種商品小売業	4	7	20	14	10	13	7
織物衣服身の回り品	736	791	879	971	817	812	626
飲食料品小売業	2433	2622	2669	2782	2486	2207	1857
自動車自転車小売	87	144	165	207	205	250	217
家具・建具・什器小売	524	548	543	713	575	538	415
その他の小売業	1117	1273	1422	1720	1551	1496	1417
合計	4901	5385	5698	6407	5644	5316	4539

飲食店

昭和41年の飲食店数は、1,513であったが、昭和54年には2,702となり、78.6%も増加した。最新の統計データである平成4年の飲食店数は、2,004でありピーク時と比べると25.8%の下落となっている。



	昭和41	43年	45年	47年	49年	54年	57年	60年	63年	平成4年
飲食店	1513	1941	2089	2259	2653	2270	2616	2326	2144	2004